

城山の鐘に感謝



城山の鐘まつりで正午の鐘を突く日高康彦さん（きょう正午、延岡市の城山公園鐘突き堂）



花束と記念品を受け取る日高さん夫妻。のべおか若結レディは今回が初仕事

きょうは「時の記念日」。延岡市で時を告げる鐘として長く市民に親しまれている「城山の鐘」に感謝する鐘まつりが、同市の城山公園鐘突き堂前で開かれた。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため規模を縮小。関係者ら約20人が鐘の響きに耳を傾け、8代目鐘守の日高康彦さん（55）眞理子さん（50）夫妻の労をねぎらった。主催は延岡観光協会。

縮小規模で
延岡観光協会
コロナで
6/10 8代目 日高さん夫妻の労ねぎらう
正午ちよと、参加者（左）第八代鐘守と書ん夫妻が力強く鐘を突いも上がり、喜鬼が広がった。同協会の谷平興二代表理事は日高さん夫妻にねぎらいの言葉を掛け「城山の鐘の音が新型コロナウイルスからの復活の鐘の音になることを心から願っている」とあいさつ。読谷山洋司市長は「延岡の歴史を今日まで伝え、延岡を代表する存在となっている」と話した。

きょう、
時の記念日

広がった。同協会の谷平興二代表理事は日高さん夫妻にねぎらいの言葉を掛け「城山の鐘の音が新型コロナウイルスからの復活の鐘の音になることを心から願っている」とあいさつ。読谷山洋司市長は「延岡の歴史を今日まで伝え、延岡を代表する存在となっている」と話した。

「城山の鐘」は1878（明治11）年から時を告げ、現在は1日6回午前6時、同8時、同10時、正午、午後3時、同5時に突かれている。鐘まつりは1941（昭和16）年から始まった。日高さん夫妻は2017（平成29）年10月に8代目鐘守に就任している。康彦さんは「昨年は多くの外国人の方に来ていただいたが、今年は静かな城山の春となりました。新しい生活様式となっていますが、城山の鐘の音をいつもと変わらず届けていきます。今後ともよろしくお願ひします」と話した。

また、今年度の「のべおか若結（あゆ）レディ」はこの日の鐘まつりが初仕事。池田奈々恵さんが同会進行、小村みなみさんと山野遥香さんが花束と記念品の贈呈を務めた。

【訂正】9日付1面の「西階球場軟連の団体予選」の記事にあった延岡軟式野球連盟理事長の名前の表記が間違っていました。染矢儀傳理事長に訂正します。

2020.6.10